

カンボジア スタディーツアー 10日間

日時	スケジュール	詳細
2月17日 夜	日 関空12:50発(ソウルにて乗り換え) プノンペン22:50到着→ホテルへ移動	<p>■ トゥールスレーン収容所、キリングフィールド訪問 ポルポト派により実行された拷問や処刑の地を訪問し、カンボジアの負の歴史を学びます</p> <p>■ 地雷原視察 地雷被害者や女性を積極的に雇用している地雷撤去団体MAGやカンボジア最大の地雷撤去団体CMACの活動現場を視察し、撤去や爆破作業に立ち会います。撤去団体へのドネーションも行います</p>
2月18日 朝 昼 夕	月 ホテルにて朝食 ① トゥールスレーン収容所、キリングフィールド レストラン昼食後、市内散策、買い物 レストランにて夕食	<p>■ CMAC地雷犬トレーニングセンター カンボジア政府直轄の地雷撤去団体CMACのトレーニングセンターで、地雷犬の訓練を見学します</p> <p>■ CMCが建設した小中学校訪問、子どもたちとの交流 学校を訪問し、子ども達の授業見学や交流を行います</p>
2月19日 昼 夕	火 ホテルにて朝食後、CMAC本部を表敬訪問 ② CMAC地雷犬トレーニングセンター訪問 バタンバン到着 夕食後ホテルへ	<p>■ エマーゼンシー病院訪問 地雷被害者など戦争被害者を無料で治療している病院。手足を切断するなど被害に遭った地雷生存者から、事故当時の状況を聞き取ります。被害者へのドネーションも行います</p> <p>■ アキラの地雷博物館訪問 子ども時代から少年兵として内戦を戦い、内戦終了後、木の棒片手に一人で地雷撤去を始めたカンボジア人アキラ。彼がこれまで撤去してきた1万個以上の地雷や不発弾の一部が展示されています</p> <p>■ 戦場カメラマン一ノ瀬泰造終焉の地訪問 ポルポト政権時代、クメールルージュが支配するカンボジアに入り、当時26歳の戦場カメラマンとして命を落とした一ノ瀬泰造の墓を訪問します</p> <p>■ 世界遺産アンコールワット観光 世界的に有名な観光地アンコールワットを訪問します。アンコールトム、バイヨン、タプロムを観光し、クメール文化を</p>
2月20日 朝 昼 夕	水 ホテルにて朝食 ③ MAG地雷原視察 地雷撤去作業、爆破立会后、ドネーション ホームランド孤児院にて子どもたちと夕食	<p>■ エマーゼンシー病院訪問 地雷被害者など戦争被害者を無料で治療している病院。手足を切断するなど被害に遭った地雷生存者から、事故当時の状況を聞き取ります。被害者へのドネーションも行います</p> <p>■ アキラの地雷博物館訪問 子ども時代から少年兵として内戦を戦い、内戦終了後、木の棒片手に一人で地雷撤去を始めたカンボジア人アキラ。彼がこれまで撤去してきた1万個以上の地雷や不発弾の一部が展示されています</p> <p>■ 戦場カメラマン一ノ瀬泰造終焉の地訪問 ポルポト政権時代、クメールルージュが支配するカンボジアに入り、当時26歳の戦場カメラマンとして命を落とした一ノ瀬泰造の墓を訪問します</p> <p>■ 世界遺産アンコールワット観光 世界的に有名な観光地アンコールワットを訪問します。アンコールトム、バイヨン、タプロムを観光し、クメール文化を</p>
2月21日 朝 昼 夕	木 ホテルにて朝食 ④ CMCポップイ安倍小学校訪問 子どもたちの授業見学と交流 ⑤ エマーゼンシー病院訪問 地雷被害者への面会后、ドネーション CMCバタンバンオフィス訪問 レストランにて夕食	<p>■ エマーゼンシー病院訪問 地雷被害者など戦争被害者を無料で治療している病院。手足を切断するなど被害に遭った地雷生存者から、事故当時の状況を聞き取ります。被害者へのドネーションも行います</p> <p>■ アキラの地雷博物館訪問 子ども時代から少年兵として内戦を戦い、内戦終了後、木の棒片手に一人で地雷撤去を始めたカンボジア人アキラ。彼がこれまで撤去してきた1万個以上の地雷や不発弾の一部が展示されています</p> <p>■ 戦場カメラマン一ノ瀬泰造終焉の地訪問 ポルポト政権時代、クメールルージュが支配するカンボジアに入り、当時26歳の戦場カメラマンとして命を落とした一ノ瀬泰造の墓を訪問します</p> <p>■ 世界遺産アンコールワット観光 世界的に有名な観光地アンコールワットを訪問します。アンコールトム、バイヨン、タプロムを観光し、クメール文化を</p>
2月22日 朝 昼 夕	金 ホテルにて朝食 ⑥ CMAC地雷原視察 地雷撤去作業、爆破立会后、ドネーション ⑦ CMCコートライ夢中学校訪問 子どもたちの授業見学と交流 レストランにて夕食	<p>■ エマーゼンシー病院訪問 地雷被害者など戦争被害者を無料で治療している病院。手足を切断するなど被害に遭った地雷生存者から、事故当時の状況を聞き取ります。被害者へのドネーションも行います</p> <p>■ アキラの地雷博物館訪問 子ども時代から少年兵として内戦を戦い、内戦終了後、木の棒片手に一人で地雷撤去を始めたカンボジア人アキラ。彼がこれまで撤去してきた1万個以上の地雷や不発弾の一部が展示されています</p> <p>■ 戦場カメラマン一ノ瀬泰造終焉の地訪問 ポルポト政権時代、クメールルージュが支配するカンボジアに入り、当時26歳の戦場カメラマンとして命を落とした一ノ瀬泰造の墓を訪問します</p> <p>■ 世界遺産アンコールワット観光 世界的に有名な観光地アンコールワットを訪問します。アンコールトム、バイヨン、タプロムを観光し、クメール文化を</p>
2月23日 朝 昼 夕	土 ホテルにて朝食 ⑧ CMCトゥールポンローみおつくし中学校訪問 子どもたちの授業見学と交流 トゥールポンロー村食堂で昼食 シェムリアップ到着後、レストランにて夕食	<p>■ エマーゼンシー病院訪問 地雷被害者など戦争被害者を無料で治療している病院。手足を切断するなど被害に遭った地雷生存者から、事故当時の状況を聞き取ります。被害者へのドネーションも行います</p> <p>■ アキラの地雷博物館訪問 子ども時代から少年兵として内戦を戦い、内戦終了後、木の棒片手に一人で地雷撤去を始めたカンボジア人アキラ。彼がこれまで撤去してきた1万個以上の地雷や不発弾の一部が展示されています</p> <p>■ 戦場カメラマン一ノ瀬泰造終焉の地訪問 ポルポト政権時代、クメールルージュが支配するカンボジアに入り、当時26歳の戦場カメラマンとして命を落とした一ノ瀬泰造の墓を訪問します</p> <p>■ 世界遺産アンコールワット観光 世界的に有名な観光地アンコールワットを訪問します。アンコールトム、バイヨン、タプロムを観光し、クメール文化を</p>
2月24日	日 ⑨ 世界遺産アンコールワット観光	
2月25日 朝 昼 夕	月 ホテルにて朝食 ⑩ アキラの地雷博物館訪問 ⑪ 戦場カメラマン一ノ瀬泰造終焉の地訪問 レストランにて昼食 市内散策、買い物 レストランにて夕食 シェムリアップ空港到着 シェムリアップ23:50発 (ソウルにて乗り換え)	
2月26日	火 関空11:40着 お疲れさまでした	

※上記のツアー行程は、現地の状況により変更となる場合があります

■ ツアー参加費 **23** 万円 (燃油サーチャージにより変動する場合があります)

【ツアー代金に含まれるもの】 ・往復航空券 ・燃油サーチャージ ・ 空港税 ・ 宿泊費 ・ 移動費 ・ ガイド通訳費 ・ 現地コーディネーター費 ・ 食事(バタンバン、バンティアイミエンチャイの食事および全食事の飲物は各自負担) が含まれます

お問合わせ先

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン (CMC)

TEL : 092-833-7575

FAX : 092-833-7677